

## I 神の恵み、約束

1. 「私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たして下さいます」ピリピ4：19。神は、この15年間、当教会のすべての必要を満たして下さった。今日まで、私たち一人一人の必要を満たし続けておられる。私達が間違っ  
て願うもの、欲張って願うものを満たすと約束されていない。あなたがたの「必要」をすべて満たして下さると言われている。何と素晴らしい神だろうか。祈り続けても与えられない時、本当に必要なものは何かを神は私達に教えて下さる。また神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、物質的な必要だけではなく、霊的な必要も満たして下さる。「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる」マタイ4：4。神は、生きたいのちある御言葉により私達の霊的な必要を満たして下さる。

「すべての悪意、すべてのごまかし、いろいろな偽善やねたみ、すべての悪口を捨てて、生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、みことばの乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです」I ペテロ2：1，2。

「みことばは、あなたがたを育成し」使徒20：32。

2. 「神は、あなたがたを、常にすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれる者とするために、あらゆる恵みをあふれるばかり与えることのできる方です」II コリント9：8。

3. 「あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要であることを知っておられます。だから、神の国（神のご支配）とその義（神の御心、聖さ）とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべてあたえられます」マタイ6：32，33。「天におられるあなたがたの父が、どうして、求める者たちに良いもの（悪いもの、間違っ  
た願いではなく、真に良いもの、真に必要なもの）をくださらないことがありましょ  
う」7：11。

4. 命、手、足、口、耳、内臓、衣、食物、住まい、罪の赦し、永遠の命、愛、喜び、平安、力、思慮分別、聖書、教会、神が与えられた家族、祈ってくれる兄弟姉妹、主イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊なる神の交わり、あふれるすべての恵みを感謝します。

## II 神のあふれる恵みへの応答

1. 神への感謝、賛美、礼拝。

2. 神への感謝から生まれる奉げ物。「どうかこの献金を、惜しみながらするのではなく、好意に満ちた贈り物として用意しておいてください」II コリント9：5。「私たちすべてのために、ご自分の御子をさえ惜しまず死に渡された方が、どうして、御子といっしょにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがありましょ  
う」ローマ8：32。御子をさえ惜しまず私達の救いの為に死に渡された神への感謝から生まれる奉げ物。「少しだけ蒔く者は、少しだけ刈り取り、豊かに蒔く者は、豊かに刈り取ります」II コリ9：6。ささげることは、「蒔く」ことであり、決して失う事ではない。その蒔かれた奉げ物は、芽を出し、神の為の実を結ぶ。「少しだけ蒔く」とは、「けちけちして」

奉げる心の態度。「豊かに蒔く」とは、「物惜しみしないで、喜んで、心から感謝して」奉げる心の豊かさ。物惜しみしない心からの感謝のささげ物をする人は、すべてを見ておられる神からの豊かな祝福を刈り取る。「ひとりひとり、いやいやながらでなく（しぶしぶではなく。神は、私達にすべての恵みを、いやいやではなく、喜んで与えて下さっている）、強いられてでもなく（キリストは「自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました」Ⅰペテロ2：24）、心で決めたとおりにしなさい。神は喜んで与える人を愛してくださいます」：7。神は、すべての恵みを喜んで私達に与えてくださる。その恵みに感謝し私達も喜んで神に奉げる。神は、その心を喜び、ますます私達を愛して下さる。

3. 「十分の一（神が与えて下さる物の十分の一は、神のもの）と奉納物（十分の一以外のささげ物。私達にとっての適用：礼拝献金、感謝献金、指定献金他）マラキ3：8。「十分の一（十分の一を奉げる恵みは、本来は10分の10すべてが、神のものであり、神から与えられている恵みを覚えさせるもの）をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ（現代的適用：神の家である教会の必要に用いよ）。こうしてわたしをためしてみよ。…わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかためしてみよ」3：10。神は、私達の心からのささげ物をご覧になっている。神の恵み心から感謝してささげる者のために、神は、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福を注いでくださる。神は生きて働かれる。
4. 神への感謝と毎週の会計の奉仕者への感謝。「彼らは、私の心をも、あなたがたの心をも安心させてくれました。このような人々の労をねぎらいなさい」Ⅰコリント16：18。

### Ⅲ 満たされている時も、必要がある時も神に祈る

1. 必要が満たされている時、慢心が生まれ、神に祈る事を止める事がないように気を付けましょう。「あなたが…満ち足りるとき、あなたは気をつけて、…主を忘れないようにしなさい」申命記6：11, 12。必要が満たされているのは、人間の力ではなく、神の恵みです。栄光を神に帰し、満たされている時こそ、霊的な目を覚まして、祈り続けましょう。
2. 必要が満たされず不足する時。失望せずに祈りましょう。「いつでも祈るべきであり、失望してはならない」ルカ18：1。  
「私の神は、キリスト・イエスにある栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たして下さいます」ピリピ4：19

